

選ぶときに注意することは？



A. 本人が行ってみたいかどうか、ね。

放課後等デイサービスを選ぶときに、気を付けなければいけない点がいくつかあります。京都市内には令和4年4月現在で170以上の事業所があるの。その中から自分にぴったりと合う事業所を探すのは、けっこう大変かもしれないわね。

よく知っている人に相談する、というのが一番の近道です。発達相談課のケースワーカーさんや相談支援専門員は、そういったことの専門家であるはず。そういう人たちに、どのような目的があって、どういう事業所を利用したいか、を相談するのが良いと思うわ。

住んでいる地域や通っている学校の近所、という選択肢はあまり考えなくても良いと思います。たいていの事業所は自動車による送迎や、徒歩によるお迎えをしてくれています。無理なく車に乗っていただける時間や、歩ける距離ならば大きな問題にはなりませんよね。

でも、いくら車に乗っているのが好きといっても、30分以上かかるような事業所では具合が悪いと思うの。学校が14時30分ぐらいに終わるとして、17時か17時30分までの利用だとしたら放課後等デイサービスの利用は2時間30分から3時間ぐらい。そのうちの1時間を送迎に使うのは、問題があると思うわ。

放課後等デイサービスでは、皆さんが地域に戻って生活するときのことを考えて、さまざまな療育のプログラムを組んでいます。プログラムは、個別に取り組むものと、集団で取り組むものが用意されているのね。そのふたつのプログラムを、バランスよく余裕を持って取り組むためには、ある程度の時間が必要になってくる、という訳なのです。

ただただ安全で怪我がないように見守っているだけ、という放課後等デイサービスの事業所は存在しないの。そういったサービスは日中一時支援という別のサービスがあったりします。もしくは、放課後児童クラブ(学童保育)ということになります。

なので、どういった目的があるのか、どんなスキルを身につけたいかによって選んでいくということになります。自分の気持ちをうまく人に伝えられない、一緒に遊ぼうが言い出しにくい、ごめんねが言いにくい、ありがとうが恥ずかしくて言えない。

そんな人には、集団での活動に力を入れている事業所が、合っているかもしれないわ。
集団で遊ぶ中から人と関わっていく方法を学べる事業所がいいのかも。

とにかく元気がありあまっていて、とことん身体を動かしたい、と思う人には、スポーツや屋外での活動が充実しているところが楽しいかも。

体育館を借りてみんなでスポーツ大会などをやっている事業所もあります。

そこできっかけを見つけて、スポーツの能力を発揮する人も出てくるかもしれないわね。

料理が好き、絵を描くことが好き、じっくりと本を読むのが好き、という人には、部屋の中での活動に力を入れているところが合うかもしれませんね。

勉強をしっかりと見てくれる事業所も出てきているけれど、[塾ではない](#)ので注意が必要よ。

順序だてて実行する力や、計画を立てて見通しを持つ力を養う、決めた時間は机に向かって集中する力などを、勉強を通して培っているのね。

なにより、楽しく通える、ここに通ってみたい、という気持ちになれる事業所が良い。

むりやり行かされている、となってしまうと、行くのがイヤになってしまうかも。

楽しみながらプログラムをやり、その結果が自信になっていく、そんな体験を積んでいってほしいの。

そしてもう一つ大切なことは、子どもだけが行きたい、保護者だけが行かせたい、ではダメだということ。

子どもも楽しく通えているし、保護者も安心し、信頼して通わせられるということが必要になってくるわ。

[長時間預かってくれる](#)から、[融通が利くから](#)なんて理由で選ぶのは控えたほうがよい、ということかしら。

[《MENU》](#)

[《計画書の交付ってどういうこと？](#)

[地域ってなんのこと？》](#)

2022-06-06 掲載